

令和3年度 当初予算概要 一般会計198億1,400万円

前年度比6.4%減

市議会3月定例会で、当初予算が可決されました。令和3年度は、感染拡大防止、雇用維持・事業継続支援、経済回復を軸としつつ、市の輝かしい未来に向けて、ウーブン・シティと地域の融合、SDCC構想の具現化を進めます。

予算総額 313億6,420万円

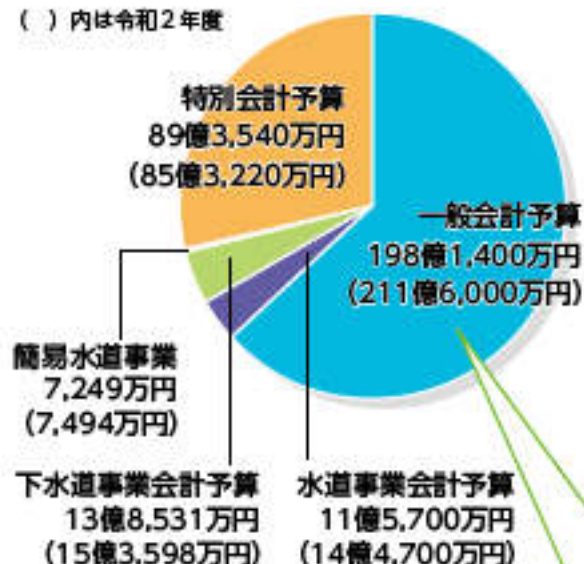
(令和2年度 327億5,012万円)

一般会計 198億1,400万円

(令和2年度 211億6,000万円)

令和3年度 会計別予算

()内は令和2年度



当初予算前年度対比 (支出)

水道事業会計	令和3年度予算	令和2年度予算
収益的	7億4,700万円	7億3,200万円
資本的	4億1,000万円	7億1,500万円

下水道事業会計

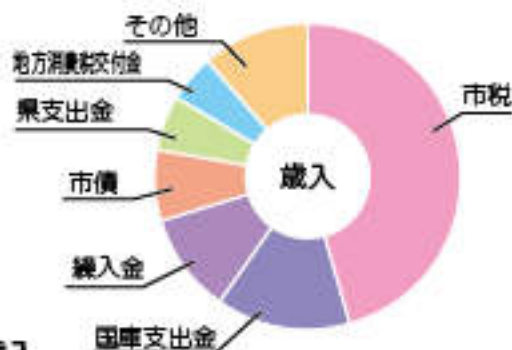
収益的	7億4,390万円	7億6,762万円
資本的	6億4,142万円	7億6,836万円

簡易水道事業会計

収益的	5,657万円	6,170万円
資本的	1,591万円	1,324万円

一般会計予算

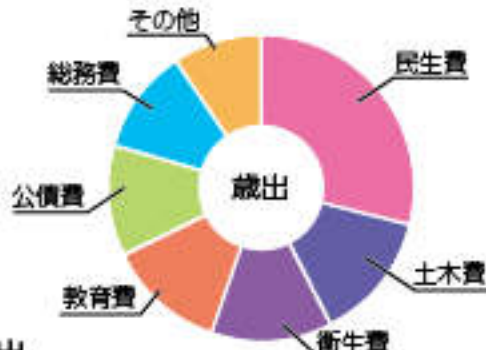
歳入総額 198億1,400万円



歳入

市 税	90億7,200万円	45.8%
国庫支出金	27億8,814万円	14.1%
繰入金	20億7,025万円	10.5%
市 債	15億 360万円	7.6%
県支出金	11億5,721万円	5.8%
地方消費税交付金	9億7,920万円	4.9%
そ の 他	22億4,360万円	11.3%

歳出総額 198億1,400万円



歳出

民 生 費	57億3,007万円	28.9%
土 木 費	26億9,020万円	13.6%
衛 生 費	25億7,539万円	13.0%
教 育 費	24億4,783万円	12.4%
公 債 費	23億2,475万円	11.6%
総 務 費	22億4,084万円	11.3%
そ の 他	18億 492万円	9.2%

裾野市の未来のまちづくりに向けて

市長施政方針

令和2年は、コロナショックと言われるように、新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威を振るい、人々の生命は脅かされ、社会経済活動は大きな打撃を受けました。私たちの暮らしも、日常の生活様式から人生の価値観に至るまで一変した、と言っても過言ではありません。

ワクチン接種が視野に入ってきた現在の使命は、新型コロナウイルスから市民の命と健康を守り抜くと同時に、企業の命も守り、また、訪訪中傷などから関係者の人権を守ることであると肝に銘じています。

感染拡大防止、雇用維持・事業継続支援、経済回復という3本柱を軸として、本市の実情や地域性を踏まえながら適切に対策を講じてまいります。アフターコロナを見据えて、Society5.0時代に適応する準備を進めることこそが、ピンチをチャンスに変えることと信じ、ウィズコロナ時代を乗り切るための舵取りをしてまいります。

350年前、郷土の先人たちは江戸の商人の民間活力

を利用し、箱根外輪山に隧道を掘り抜き、山の向こうの芦ノ湖からこの地に水を引き込むという大偉業を成し遂げました。また、50年以上前、市制への移行準備をしていた頃の先人は、積極的に企業を誘致し、工業都市への方向転換により、今日の発展の基礎を築かれました。市制施行から半世紀がたった今年、再び民間活力による活躍性あふれるまちづくり、コロナ禍によるニューノーマルへの転換など、持続可能でより良い社会経済システムへと移行するための分岐点が訪れています。未来を大きく左右するこの時代に、市政のタクトを振れることを誇りとやりがいとし、企業を含めた市民の皆様とともに力を合わせた市民協働のまちづくりに臨んでまいります。

また、市制施行から50年という節目を経て、未来への確かなスタートを切るため、現状をしっかりと認識した上で市の進むべき方向を判断し、市の輝かしい未来に向けて、ウーブン・シティと地域との融合、SDCC構想の具現化を進めてまいります。

令和3年度から10年間 第5次総合計画がスタート

人口減少・少子高齢化の進行やテクノロジーの急激な発展などの社会経済の環境の変化に対応するとともに、市民の「暮らし満足」の実現に向けて、まちづくりの基本的な方向を示す総合的な指針です。



計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間です。

まちの将来像

「みんなが誇る豊かな田園未来都市すその」

富士山の裾野市に広がる豊かな自然環境のもと、地域に誇りを持つ市民や地域経済をけん引する企業などとともに、未来志向で協働・連携し、快適で安全・安心なまちづくり、人や企業に選ばれるまちづくり、住み続けたいまちづくりを進めることで、裾野市らしい「田園」と「未来都市」が令しく（うるわしく）調和するまちを目指します。



目標達成に向けた5つの柱

ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち

(万円)

主な事務事業	事業費
富岡第二幼稚園閉園関連事業	100
児童福祉機能等集約事業	4,000
子育てモバイルシステム事業	47
小中学校GIGAスクール運用事業	7,845
コミュニティ・スクール推進事業	260



▲既に整備している学習用情報端末や周辺機器の活用によって、子どもたちの資質や能力が一層育まれるような教育ICT環境を実現します。

地域資源を活用した魅力あふれるまち

(万円)

主な事務事業	事業費
産業連携地域プラットフォーム運営事業	1,150
地域戦略作物活性化支援事業	255
オリンピック・パラリンピック推進事業	2,237
スポーツツーリズム事業(準高地トレーニング)	150



▲富士山麓の冷涼な気候、標高の高さ、首都圏からのアクセスの良さといった地域資源を活用し、スポーツ合宿の誘致をはじめとしたスポーツツーリズム事業を推進します。

安全・安心に住み続けられるまち

(万円)

主な事務事業	事業費
新火葬施設整備事業	16,314
富士山火山防災マップ(改定版)作成事業	308
通学路整備事業	900



▲長泉町と共同して新たな火葬施設を整備するため、裾野市長泉町衛生施設組合に負担金を支出します。運営開始は、令和3年7月を予定しています。

将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち

(万円)

主な事務事業	事業費
御宿土地区画整理助成事業	12,070
裾野駅西土地区画整理事業	87,763
(仮称) 御師公園整備事業	5,522
住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画策定事業	500
(仮称) 神山深良線整備事業	3,407
平松踏切道改良事業	1,550



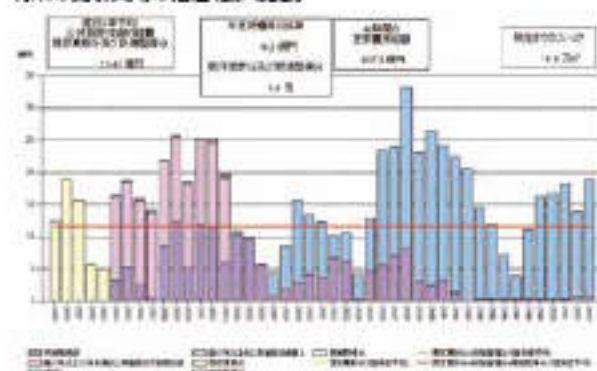
◀全市的なパランスに配慮し、地域の拠点となる公園・緑地の整備をします。須山地区の豊かな自然環境や歴史文化など地域固有の特性を生かした特色ある公園を目指します。

時代のニーズに応えられるまち

(万円)

主な事務事業	事業費
市制施行50周年記念記念特別事業	100
ふるさと納税推進事業	6,113
公共施設等総合管理計画改訂事業	500
キャッシュレス決済導入事業	72

将来の更新費用の推定(公共施設)



▲個別施設計画の方針やコスト情報などを整理し、公共施設等総合管理計画を改訂します。